



写真2 新旧ロゴマーク

3. 大型倉庫開発第1弾 「アライプロバンス浦安」の竣工

2020年8月、第1弾大型物流倉庫「アライプロバンス浦安」（浦安市港・敷地面積14,878m²・延床面積34,598m²・4階建・1～2階スロープ式・マルチテナント）を着工した。

「アライプロバンス浦安」は東京に隣接した抜群の立地と最新の機能性はもちろんだが、鮮やかな色遣いの外装やムードあるホテルライクなエントランスなど、建物は物流倉庫とは思えないスタイリッシュな外観・空間を創造した設計を行った。

さらに、当施設の最大の特徴は独自性を追求したランドスケープの存在感である。

他施設との差別化を図る上で、当社ができることを熟考し、物流施設利用者へのホスピタリティを充実させた遊び心溢れるランドスケープを仕掛けるアイデアが閃いた。

ルイヴィトン・ポップアップストアのデザインや国内外で数多くの建築賞を受賞しているSUGAWARADAI SUKE建築事務所の菅原大輔氏にランドスケープデザインを依頼し、「道の庭」、「四季の庭」、「海の庭」に加え、独創的なバス待合所を計画した。

同事務所はストーリーを大切にデザインに落とし込む「物語る風景」をデザインの理念に掲げてお

り、会社の歴史・沿革、アライの夢や創り出したいイメージをすくい上げ圧倒的な提案力により、「3つの庭」というランドスケープでアライの思いをカタチに表現した。

正面道路沿いに広がる「道の庭」。柔らかな植栽の中に大胆に構えたバス待合所は浦安の残土による洞窟のような待合いボリュームと半屋外空間を覆うミラー張りの大屋根で構成され、庭の色づきを映し出し、道行く人、バスを待つ人に癒しとやすらぎを与える演出に、さらに路線バスの停留所名称を「アライプロバンス」と改名した。

洞窟風のバス待合所を抜けた「四季の庭」は一気に視界が開ける。四季折々の豊かな花に彩られた植栽を縫うように進む回遊式の庭は、楽しくくつろげるベンチテーブルを設置し、物流施設本館までの豊かなシーンを創り出したグランドガーデンである。

東京湾に面する「海の庭」はかつて東京の表であった水辺に、街の新しい顔を取り戻した。ヤシや南



写真3 アライプロバンス浦安